

大学入試における 『主体性・協働性等評価』導入に向けた 河合塾の取り組み

J-Bridge System －主体性・協働性出願申請／評価支援システム－

学校法人 河合塾
教育研究開発本部 教育研究開発部

2019年5月16日

河合塾の調査・研究〈求められる新たな価値とは？〉

＜新しい学力観＞



☑ 未来を生きる人材を創出する仕組み作り



大学入学者選抜に係る新たなルール

＜一般入試の課題の改善＞

- ① 筆記試験に加え、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書や志願者本人が記載する資料等（※）の積極的な活用を促す。

各大学の入学者受入れの方針に基づき、調査書や志願者本人の記載する資料等をどのように活用するのかについて、各大学の募集要項等に明記することとする。

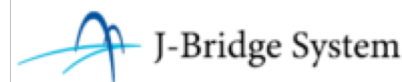
※その他、エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション、各種大会や顕彰等の記録、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料やその面談など。

文部科学省「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」より抜粋

【他の選抜区分の改善点（抜粋）】

- AO入試：志願者自らの意思による公募制という性格にかんがみ、本人の記載する資料（活動報告書、大学入学希望理由書、学修計画書等）を積極的に活用する。
- 推薦入試：学校長からの推薦書の中で、本人の学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載すること、及び大学が選抜に当たりこれらを活用することを必須化する。

**こうした課題を解決するため、河合塾と佐賀大学にて
J-Bridge Systemを開発**



J-Bridge System 5つの特長

1. 大学のアドミッション・ポリシーに対応した申請項目を、自由に設定できる

募集区分ごとに、受験生に求める申請情報や評価方法を任意に設定することができます。

2. 受験生の主体性・協働性を示す申請内容を、Web上で効率的に評価できる

ループバックを同一画面上で表示させたり、任意の項目だけを抽出して表示させたり、随所に時間短縮やミス防止につながる工夫が施されています。

3. 導入に際しての初期投資は不要

本システムの使用料のみで少人数からご利用いただける料金体系を想定しています。

※Web出願システムを導入いただいていることが前提となります。ご利用の出願システムとの接続に連結費用等の発生する場合があります。

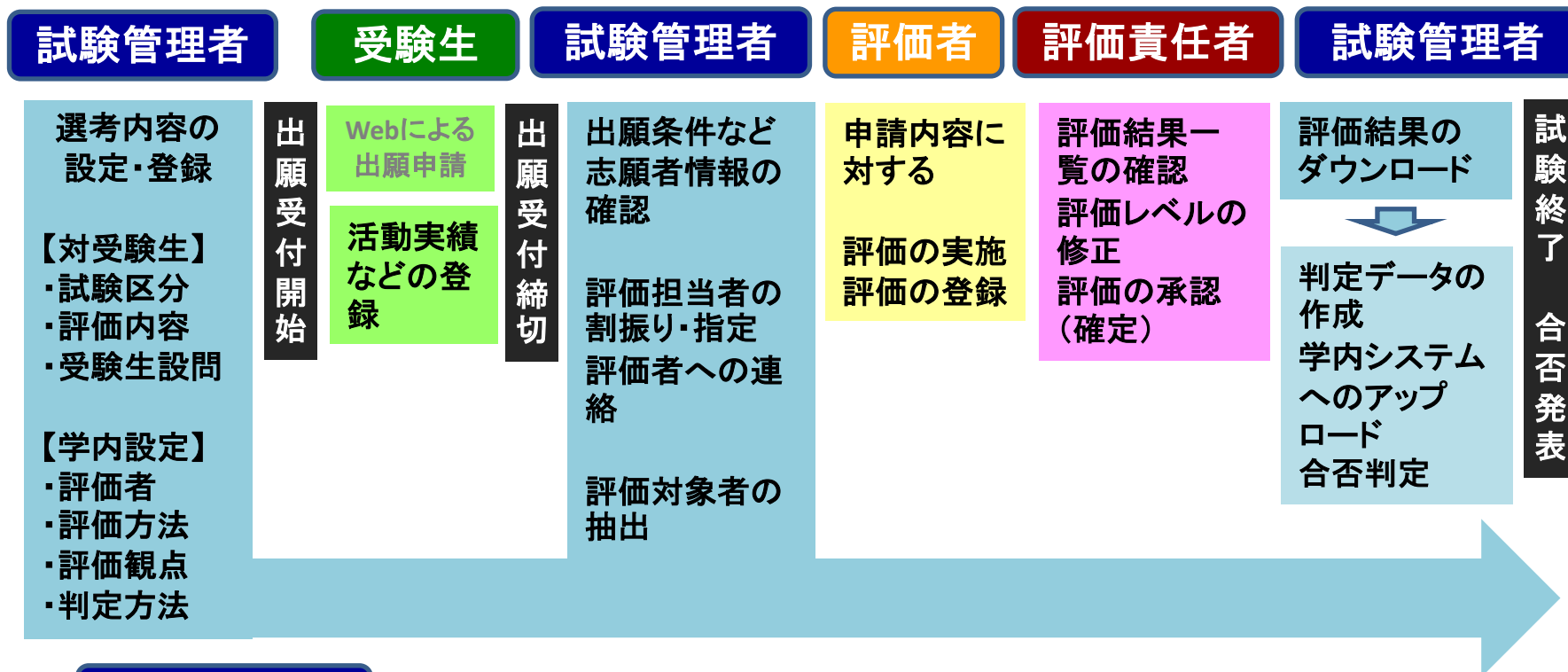
4. 万全のセキュリティー体制

厳重なセキュリティー対策により堅牢なシステムが構築され、システム内各機能へのアクセスも厳しく制御されています。

5. さまざまなWeb出願システムやeポートフォリオとの連携

提供業者を問わず、さまざまなWeb出願システムやeポートフォリオと、積極的に連携していきます。

J-Bridge System 全体の流れ



試験管理者

・・・入試全体を管理する部局、入試課など

評価者

・・・実際に評価活動を行う人、学部教員、アドミッションセンタースタッフなど

評価責任者

・・・試験実施部局の責任者、学部入試委員長、学部の試験責任者など

受験生、試験管理者、評価者、評価責任者の4つのインターフェイスからの入力を通じて、J-Bridge Systemを利用した入試は進められる。

活動実績の選考内容一覧

- 大学
- 学部 ●●学科 A 方式

- ・検定料を支払うと、内容の入力・編集ができなくなります。検定料を支払う前に入力を完了してください。
- ・3時間の間操作がない場合、自動的にログアウトされてしまうため、入力中の内容は必ず途中で保存するようにしてください。

募集要項を確認の上、登録してください

> 募集要項

特色加点

大学・学部が求める選考資料を入力できるようにする。ボックス内の用語は任意設定。

申請可能数：3件

申請 1	申請タイトル	回答済	参照	編集	削除
申請 2	申請タイトル	回答中	参照	編集	削除

志願理由書

申請件数は、管理画面で設定できるようにする。

申請可能数：1件

申請 1	志願理由書	回答済	参照	編集	削除
---------	-------	-----	----	----	----

大学での学修設計書

申請可能数：1件

申請 1	大学での学修の設計書	回答中	参照	編集	削除
---------	------------	-----	----	----	----

申請 1

あなたの高校時代の経験について記入してください。

活動内容タイトル

(50字以内)

例) ○○部活動を3年間継続, 全国大会○○賞の受賞, ○○の取り組みが○○新聞に掲載, ○○ボランティアのリーダーとして活動, 海外語学研修への参加, ○○資格の取得。

【活動実績基礎情報】

あなたが高校時代に経験した活動内容について記入してください。

活動形態

☐ 個人 ☐ グループ等

申請カテゴリ

☐ 部活動 ☐ ボランティア活動 ☐ 生徒会活動 ☐ 探求型学習 ☐ スポーツ活動
☐ 文化・芸術活動 ☐ 資格・検定

活動実績等の主催、認定、授与、授与、発行等の機関等の名称

(50字以内)

例) 活動であれば, NPO 法人○○○○, ○○自治体, ○○高等学校など,
実績であれば, ○○連盟, ○○協会など

活動期間・実績取得年月

活動期間

～

実績取得年月

活動・実績等を証明する資料および参考資料等

参考資料登録

自由記述ではなく、カレンダー機能から入力する。

※登録可能な資料は3つまで、1ファイルあたりのサイズの上限は10MBまでです。

コンクール入選や資格取得等を証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事、活動や実績の内容を示す参考資料等がある場合は関係書類の写しをアップロードしてください。資料の内容が分かるように簡潔にファイルに名前をつけてください。

例) 活動であれば, NPO法人○○, ○○自治体, ○○高等学校など, 実績であれば, ○○連盟, ○○協会など

【アドミッション・ポリシーとの関連性について】

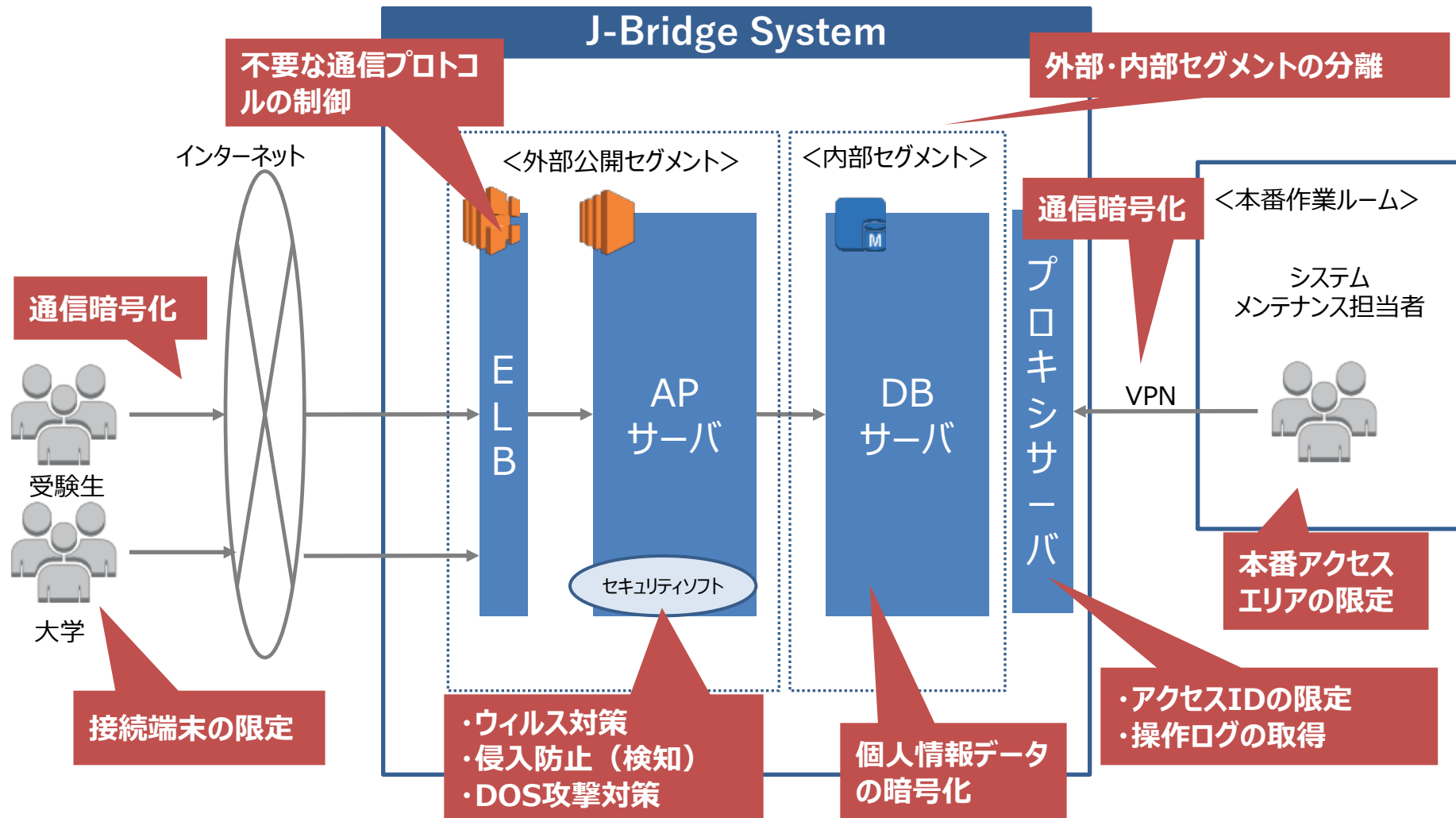
申請する活動実績を通して身に付けた能力やスキルおよび経験が、大学入学後の学修や活動に、どのように生かせるかについて、志望する学部（学科）のアドミッション・ポリシーに示されている内容を踏まえて具体的に説明してください。

残り300文字／1000文字

保存して選考内容一覧へ戻る

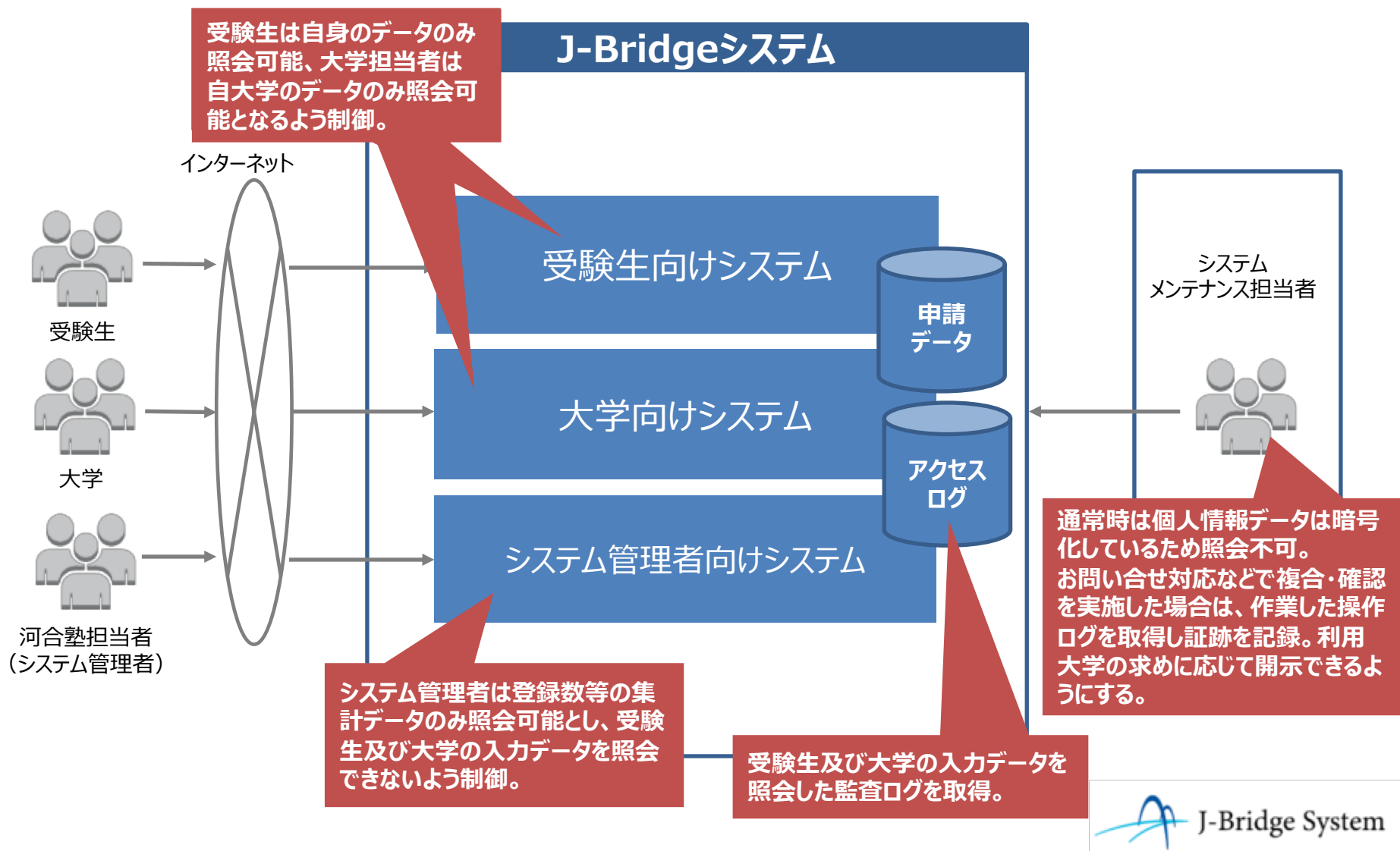
セキュリティ対策

厳重なセキュリティ対策により堅牢なシステムを構築しています。



各システムへのアクセス制御について

受験生は自身のデータのみ、大学担当者は自大学のデータのみ照会可能となるよう制御。
河合塾は受験生の申請データ及び大学の評価関連データは照会できないよう制御する。



大学入試におけるWebを活用した 主体性等評価について考えるセミナー

大阪会場

2019年6月 4日(火)13:30～17:00(開場13:00～)

AP大阪駅前梅田1丁目 (定員100名)

<対象>

入試業務にかかわる大学教職員

東京会場

2019年6月24日(月)13:30～17:00(開場13:00～)

AP市ヶ谷 (定員150名)

<参加費>

無料(事前申込制)

福岡会場

2019年6月27日(木)13:30～17:00(開場13:00～)

ACU(アキュ)博多 (定員 60名)

<プログラム>

※ 全会場でプログラムは同一です。また、内容や進行を一部変更することがございます。

開始時間	終了時間	プログラムタイトル	講演者(所属)
13:30	13:35	開会のあいさつ	河合塾
13:35	14:20	基調講演 「大学入試における主体性等の評価の意義と実際」	川嶋 太津夫 特任教授 (大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長)
14:20	14:40	「J-Bridge System」の概要	河合塾
14:50	15:20	事例報告①: 佐賀大学 「一般入試でのJBS導入と実施結果」	西郡 大 教授 (佐賀大学 アドミッションセンター長)
15:20	15:50	事例報告②: 九州工業大学 「主体性等評価とその評価システムの利活用の実態と課題」	安永 卓生 教授 (九州工業大学 副学長(入試・広報担当)、IR室長)
16:05	16:55	質疑応答、パネルディスカッション	講演者一同
16:55	17:00	閉会のあいさつ	河合塾

詳細はこちらから… <https://www.kawai-juku.ac.jp/event/educ/jbs/>

JBSに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

学校法人 河合塾 教育研究開発本部
教育研究開発部 JBS開発担当

〒171-0022 豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル6階

TEL 03-6811-5531 Fax 03-5958-1247

e-mail : j-bridge-system@kawai-juku.ac.jp